

【学校名】

| | |
|--|---|
| <p>実態(課題)の把握</p> <p style="text-align: right;">以下を参考にして記入してください。</p> <p>(1) 自校のいじめ・不登校等に関する状況(複数年度)について ※以下の点に留意して、自校のいじめ・不登校等の状況を表の中に記入してください。 ①国や県平均と比較した1000人当たりのいじめ認知件数と解消率の3年間の推移 ②国や県平均と比較した1000人当たりの不登校児童生徒数の3年間の推移 ③複数年度に渡り継続している不登校や、新規に不登校となった児童生徒数</p> <p>(2) 自校の課題(いじめ・不登校・貧困・虐待等)について</p> <p style="text-align: center;">①～④について、「学校評価の4点セット」の重点目標にいじめ・不登校関連の項目</p> | |
| ① 重点 目標 | <p>※重点目標を記載してください。</p> <p>例(1) 相手を思いやり、集団としてよりよく生活しようとする。 例(2) 主体的に目標を立てて、他者と協働して課題を解決しようとする。 例(3) 集団や社会に主体的に参画し、よりよい生活や人間関係をつくらうとする。</p> |
| ② 達成 指標 | <p>※以下の記入例を参考にして記入してください。</p> <p>例(1) 「学校のみんなで何かをするのは楽しい」と答えた児童生徒の割合 ●% 例(2) 「授業や行事に主体的に取り組んでいる」と答えた児童生徒の割合 ●% 例(3) 「学級に満足している」と答えた児童生徒の割合 ●%</p> |
| ③ 重点 的取 組 | <p>※「②達成指標」の達成につながる取組を記入してください。</p> <p>例(1) 短時間で継続的な人間関係づくりプログラムの実施 例(2) 授業の中で生徒指導の3機能を充実 例(3) 学校行事の中で、児童生徒の主体的な取組を実施</p> |
| ④ 取 組 指 標 | <p>※「何を」「どれくらいの頻度で」行うかがわかるように具体的に記入してください。</p> <p>「③重点的取組」に向けての過程(プロセス)を大切にします。</p> <p>(1)の例・・・週1回15分の構成的グループエンカウンターの実施する。 (2)の例・・・毎時間の授業の中で「自己決定の場」「自己存在感を与える場」「共感的人間関係を与える場」のいずれかを設定した授業を行う。 (3)の例・・・児童(生徒)会行事や学校行事で児童生徒の参画場面を増やす</p> |
| <p>児童生徒支援組織運営と検証改善(検証頻度と検証方法)</p> <p><組織運営> 支援が必要な児童生徒については、教育相談コーディネーターを中心として、管理職、養護教諭、学級担任、特別支援教育コーディネーター、SC、SSWが参画</p> <p><検証改善> ※少なくとも学期ごとに1度は検証した上で、達成指標に到達するよう年度途中でも、重点的取組や取組指標の改善を行うことが大切です。</p> | |

SC、SSW、地域児童生徒支援コーディネーターの活用方法について

- <SC、SSW>
- ・支援が必要な児童生徒への対応について、SCとSSWを活用しながらどのように行っていくか、具体的に記載する。
 - ・教育相談体制を確立し、児童生徒・保護者の支援をどのように行うかを記載する。
- <地域児童生徒支援コーディネーター>
- ・地域児童生徒支援コーディネーターを校内でどのように活用するかを具体的に記載する。